

心理教育的理解

加害者－被害者がいる問題における相談のポイントは、まず加害者に責任があるということを明確にし、自責を軽減することがご存じのはずです。立場をひとつずらして、被害者のひきおこす対人関係におけるさまざまな問題を、自分個人に対するものとして引き受けたり、自責感をもたないことが身を守ります